

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 紀和会

【はじめに】

社会福祉法人紀和会の福祉サービスをご利用になられている皆様方、ご家族の皆様方ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の事業概況についてご報告申し上げます。

☆年度実績および全般状況

令和元年度の実績ですが、特別養護老人ホームの介護保険事業収入につきましては、前年対比が102.2%で、昨年度と比べ約4,000,000円の増額となっております。身体障害者支援施設の障害者福祉サービス事業収入につきましては、前年対比が102.9%で昨年度より約3,400,000円の増額となっており、紀和会全体の収入は、前年対比が101.5%で約6,100,000円の増額となりました。

部門別では、特別養護老人ホームにつきましては、入院延べ日数が約600日と入院された利用者が前年度よりも大幅に少なかったため、長期利用の平均利用者数が47.5名、稼働率が95.2%となり収入の増額となりました。

また短期入所につきましては、長期利用者の空床を有効に利用して稼働率を上げることができ、平均利用者数が19.5名、年間稼働率97.6%、前年対比で99.5%と昨年度と同水準を維持できました。人件費につきましては前年対比103.2%、事務費支出においては前年対比58.7%、事業費支出においては前年対比102.0%となっております。

身体障害者支援施設につきましては、年間平均利用者数が19.7名、年間稼働率が98.6%という数字となり、年間稼働率は前年対比で103.1%となっております。

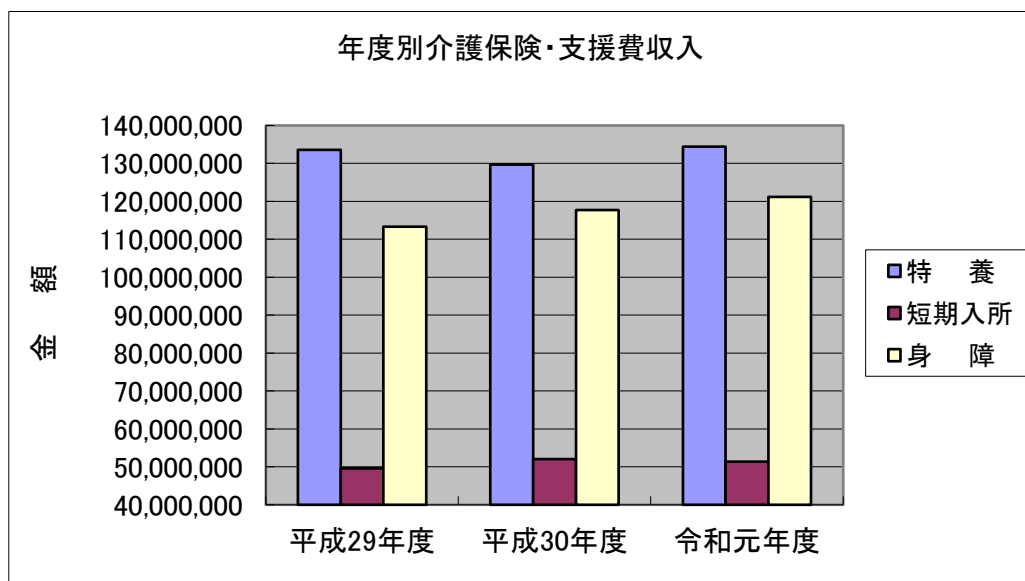
また、短期入所におきましても利用者の確保に努めたことにより、年間稼働率83.9%、年間平均利用者数が1.67名と高い数字を維持することができ、収入の増額に繋がりました。人件費については前年対比102.7%、事務費支出においては前年対比71.3%、事業費支出においては101.4%となっております。

特別養護老人ホーム、身体障害者支援施設共に事務費支出が、大きく減額となっておりますが、数字が低くなった要因としましては、昨年度、平成31年2月から直営での給食提供となり、業務委託費が大きく減額したことによるものです。特養と身障を合わせた人件費構成比率は72.3%という数字となりました。

☆【部門概況】

☆年度別介護保険・支援費請求収入一覽

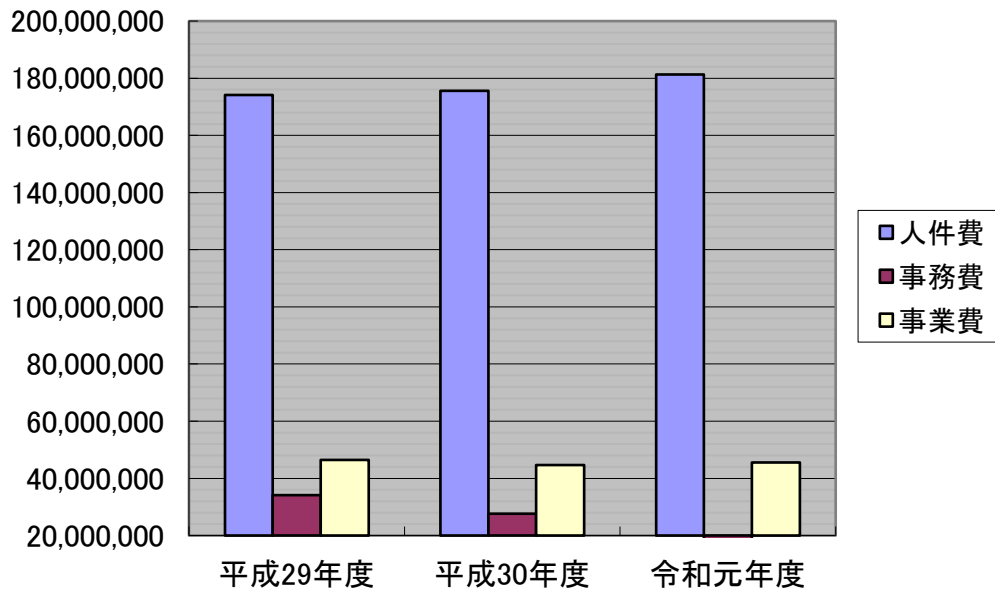
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年対比
特 養	133,558,278	129,721,061	134,443,115	103.6%
短期入所	49,592,020	52,009,065	51,324,349	98.6%
身 障	113,305,460	117,690,630	121,147,394	102.9%



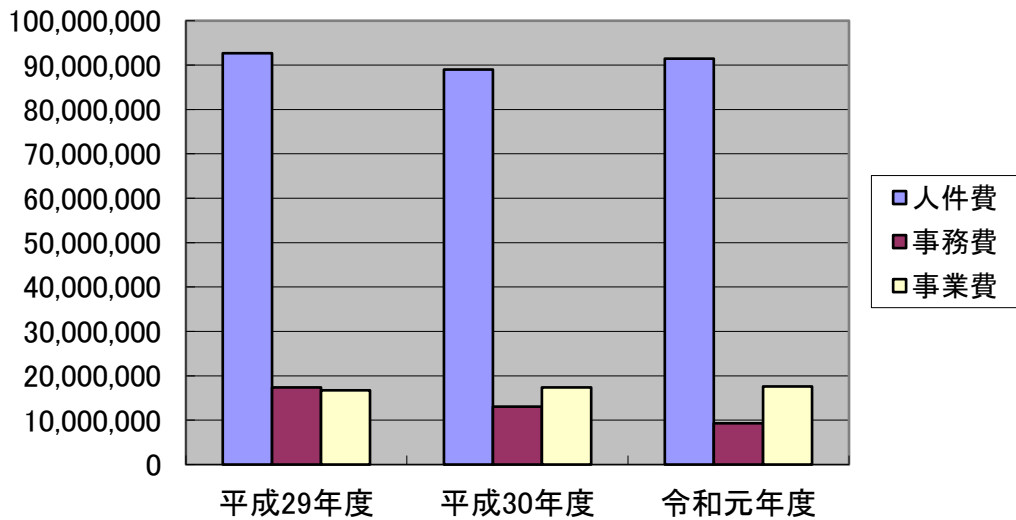
☆人件費等の割合

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年対比
特 養				
人件費	174,172,169	175,587,613	181,332,419	103.2%
事務費	34,134,000	27,604,698	16,227,534	58.7%
事業費	46,503,128	44,612,245	45,511,412	102.0%
身 障				
人件費	92,706,034	89,006,685	91,424,468	102.7%
事務費	17,396,606	13,064,375	9,316,075	71.3%
事業費	16,720,876	17,365,797	17,620,984	101.4%

特別養護老人ホーム



身体障害者支援施設



【入所者の概要】

令和2年3月31日現在

・特別養護老人ホーム

☆人数・平均年齢

年齢区分	男 性	女 性	計
～ 69	0	1	1
70 ～ 74	0	0	0
75 ～ 79	1	2	3
80 ～ 84	3	8	11
85 ～ 89	2	10	12
90 ～	3	20	23
計	9	41	50
平均年齢(歳)	86.9	89.6	89.1

☆入所者介護度分布

介 護 度	男 性	女 性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	1	2	3
要介護3	3	18	21
要介護4	4	15	19
要介護5	1	6	7
計	9	41	50
平均要介護度	3.56	3.61	3.60

☆入退所状況

H31.4.1～R2.3.31

	男 性	女 性	合 計
入 所	7	9	16
退 所	6	9	15

☆退所内訳

	男 性	女 性	合 計
病院入院	2	5	7
入院病院等にて永眠	3	4	7
在宅復帰	1	0	1
合 計	6	9	15

☆短期入所利用状況

	29年度	30年度	元年度	月別平均	前年対比
4月	573	535	600	20.00	112.1%
5月	548	596	611	19.70	102.5%
6月	600	529	590	19.66	111.5%
7月	641	636	597	19.25	93.8%
8月	631	610	629	20.29	103.1%
9月	607	574	557	18.56	97.0%
10月	576	625	515	16.61	82.4%
11月	449	626	598	19.93	95.5%
12月	501	622	625	20.16	100.4%
1月	521	602	635	20.48	105.4%
2月	533	600	573	19.75	95.5%
3月	616	628	615	19.83	97.9%
月平均	18.61	19.67	19.52	19.52	99.5%
利用日数	6796	7183	7145		
年間稼働率	93.0%	98.4%	97.6		

・身体障害者支援施設

令和2年3月31日現在

☆ 人数・平均年齢

年齢区分	男 性	女 性	計
～ 24	0	0	0
25 ～ 29	0	0	0
30 ～ 34	0	0	0
35 ～ 39	0	0	0
40 ～ 44	1	0	1
45 ～ 49	0	2	2
50 ～ 54	4	0	4
55 ～ 59	0	0	0
60 ～	6	7	13
計	11	9	20
平均年齢(歳)	59.8	63.7	61.6

☆入所者支援区分分布

支 援 費	男 性	女 性	計
区分3	0	1	1
区分4	2	0	2
区分5	2	0	2
区分6	7	8	15
計	11	9	20
平均支援費区分	5.45	5.66	5.55

☆入退所状況

H31.4.1～R2.3.31

	男 性	女 性	合 計
入 所	0	0	0
退 所	0	0	0

☆退所内訳

	男 性	女 性	合 計
病院入院	0	0	0
入院病院等にて永眠	0	0	0
他施設入所	0	0	0
合 計	0	0	0

【行事報告】

・特別養護老人ホーム

令和元年

5月8日 遠 足 参加者68名

晴天に恵まれ、裏庭にてバイキング形式の昼食を摂り、食後に
デイルームで綿菓子、ゲームコーナーを設け利用者に楽しんで
いただきました。

8月7日 夏 祭 り 参加者66名

特養・身障の利用者、家族、職員、地域の方々が大勢参加さ
れ、盛大な盆踊り大会となった。今年は屋台の食事提供は無か
ったが、地元歌手の歌謡ショーや、家族と一緒に踊りの輪に入
って踊ったり、くじ引きを楽しんだりと交流を深めました。

9月18日 敬 老 会 参加者63名

一日利用者と楽しく過ごすことを目標として、厨房職員の特製
お祝い膳に舌鼓をうち、おやつバイキングや、ボランティアに
よる太鼓の演奏、ギターの弾き語り等で敬老の日をお祝いしま
した。

12月11日 忘 年 会 参加者69名

お寿司などの豪華な昼食に加え、鬼城太鼓、オカリナとギター
の演奏や、ボール送り、玉入れ競技を楽しんでいただきました。

12月28日 餅つき大会 参加者66名

家族も参加して、利用者、職員と一緒に餅つきを行い、正月が
近づいたという雰囲気を感じていただきました。

令和2年

2月 3日 節分豆まき会 参加者70名

職員が鬼に扮装し、デイルームにて利用者と職員とで「鬼は外、
福は内」の掛け声のもと豆まきを楽しんでいただきました。

・身体障害者支援施設

令和元年

- 5月31日 バーベキュー 全員参加
施設内 2 階ベランダにて実施し、焼き肉・焼きそば・おにぎり等に、お酒も楽しまれ外の空気も味わえると好評でした。
- 5月～6月 春の希望外出 19名参加
今年は5グループに分けて、5月から6月にかけて利用者個々の希望を聞き、1日かけて大内山動物園、太地くじらの博物館、亀公園、新宮イオン、スーパーセンターなどに行き、ショッピングや食事だけでなく、動物のアトラクションを見たりして楽しんでいただきました。
- 8月 7日 夏 祭 り 全員参加
身障・特養の利用者、家族、職員、地域の方々が大勢参加され、盛大な盆踊り大会となった。今年は屋台の食事提供は無かったが、地元歌手の歌謡ショーや、家族と一緒に踊りの輪に入って踊ったり、くじ引きを楽しんだりと交流を深めました。
- 9月～10月 秋の希望外出 11名参加
春の希望外出と同様に、利用者個々の希望外出先や希望の食事を聞き、希望に応じた外出となるように計画し実施をした。今回は5グループに分けて熊野イオン、新宮イオン、ピネごちそうダイニングに行き、ゆっくりと買い物や食事などを楽しみました。
- 10月15日 身障・特養交流運動会 全員参加
身障・特養の利用者の交流を目的として実施し、フィッシングゲームや風船割り、お菓子食い競争など特養の利用者にも楽しんでいただける種目で開催し、利用者だけでなく職員も参加し交流を深めました。
- 12月17日 忘年会 全員参加
海鮮丼、オードブルなどに舌鼓をうち、食事の後に、カラオケを楽しんだり、忘年会ということで、今年1年間をスライドショーで振り返りました。

12月28日 餅つき大会 全員参加

利用者が叩く太鼓の音に合わせて、利用者と職員が一緒になってお餅をつき、つきたてのお餅を食べて楽しみました。

令和2年

2月 3日 豆まき大会 全員参加

食堂にて、利用者と職員にて豆まきを行った。職員が鬼の衣装を身につけ、利用者は豆をまいたり、歳の数だけ豆を食べたりと楽しんでいただきました。

※利用者の誕生日にはハッピーデーとして行きたい場所へ職員と一日かけて出かける外出支援を実施しました。

【クラブ活動】

・ 特別養護老人ホーム

定期的に食堂にてカラオケレクを行っています。

カラオケ好きな方は十八番をリクエストして自慢の喉を披露されています。

・ 身体障害者支援施設

利用者の希望するクラブに入ってもらい、毎月クラブ活動を実施しています。また、クラブ活動を行うことにより利用者間の親睦を深めていただきました。

・ 園 芸 部

・ オセロ部

・ コーラス部

・ 手 芸 部

・ 写 真 部

・ 創 作 部

・ パソコン部

・ 美 術 部

【会 議】

施設の機能と職員の連携を有効に活用し、いかに合理的に施設運営と利用者処遇を両立させることができるか、意見交換と連携を行い各職種間、職員間並びに職員と利用者間の理解、信頼、協調を深めたより良い施設作りを推進し、利用者の人権が守られた快適な生活を確保する為、次の会議を実施しました。

- 部署会議

各部署責任者で構成し、施設全体の動向を把握し、改善事項や業務の連絡調整等について話し合いを実施しました。また、収支状況を報告し、施設の経営に関する方向性を共有しました。

- 主任会議

主任クラスの役職員で構成し、利用者に対するサービスの質の向上のために処遇の改善や業務内容等の問題点を検討し、他の会議から挙げられた議題についての検討を実施しました。

- リーダー会議

業務における指示の徹底・改善事項等について話し合い、またチーム会議で挙げられた問題等について検討を実施しました。

- チーム会議

各職員が、ケアプランのモニタリングや利用者の処遇に関する問題点等について検討し、利用者の介護に反映されるように話し合い、また、会議の中で出された検討・改善事項についてはワーカー会議等への議題提起を行いました。

- サービス担当者会議（特養）

各部署のサービス担当者によるケアプランのモニタリングの結果や利用者の処遇に対する問題点について話し合い、ケアプランの見直し、改善を行いました。

- サービス担当者会議（身障）

利用者へのサービス内容を評価し、利用者にもっとも適したサービスが提供できる様に定期的開催しました。

- ワーカー会議（特養・身障）

各職員が、いろいろな意見を出し合い、業務・利用者処遇についての問題点について検討を行いました。また、業務における指示等を再度検討し周知徹底を行いました。

- 給食会議

食生活に潤いと変化を持たせ、喜んでもらえる食事が提供できるように、検食簿の意見や、レトルト食の評価、残食状況等について各部署責任者で検討を行いました。

- 入所者判定会議（特養・身障）

入所決定に係る「入所判定会議」を開催し、入所順位名簿を整備するとともに、入所希望者の入所決定を行うため実施しました。

- 事務所会議

事務所としての課題や問題点について提起し、課題等に対する対応策や評価を行い、情報共有に努めました。

- 医務室会議

利用者に対する健康管理・処置方法の検討及び看護職員が少ない中、業務を円滑に行うにはどのようにすればよいのか検討を行いました。

- 利用者会議（身障）

利用者からの希望・意見を聞き、利用者の希望・意見を尊重した支援ができるように話し合いを行いました。

【給食】

給食はおいしく、楽しくということの基本として、利用者個人の状態に応じた食事を提供し、なおかつ、食べていただくことにより、必要な栄養量を確保し、体調を維持していただくなくてはなりません。そのため、嗜好調査・メニュー意見箱や日々の残菜調査の結果を献立に組み込み、また毎月給食会議を開催し、検食簿や意見交換によって食べやすい食事作りに努めると共に、食事形態の工夫や選択食の実施をするなど、嗜好や毎日の健康状態の差に対応できるように努めました。平成31年2月からは、自前での食事提供となりましたが、利用者に食事を楽しんでいただくため、食事の質を落とすことなく提供し、衛生管理の徹底に努めています。また、特別養護老人ホームでは5月に花見、9月に敬老会、12月には忘年会を実施し、特別食を楽しんでもらいました。

身体障害者支援施設では5月に施設のベランダでバーベキュー、12月に忘年会を開催しておいしい昼食を召し上がっていただき、年末には餅つき大会を実施し、つきたてのお餅をおやつに食べていただきました。また、食堂が2階にある身体障害者支援施設では、毎食、温冷配膳車に入れて提供し、利用者には大変喜んでいただいています。

令和元年度 実施給与栄養量		
	特別養護老人ホーム 入 所 者	身体障害者支援施設 入 所 者
エネルギー	1367 kCal	1581 kCal
たん白質	52.2 g	60.5g
脂肪	37.7 g	41.2 g
カルシウム	567.0mg	584.0m g
鉄	6.1mg	6.6m g
ビタミンC	255.0mg	255.0m g
食物繊維	12.4 g	12.0g
食塩	7.8g	7.6g

※ 入所者の食事形態状況

主食は常飯、軟飯、粥、半ペースト、ペースト粥、ゼリー粥、パン食とし、副食については常菜、細刻み食、細の超刻み食、超刻み食、半ペースト食、ペースト食があります。嚥下状態のよくない利用者には、ソフト食を提供しています。

【検討委員会】

- 身体拘束廃止検討委員会

身体拘束の適正化に関する指針に基づき、利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解したうえで、身体拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束廃止検討委員会が中心となり、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

- ヒヤリハット検討委員会

検討委員会で傾向と対策をまとめ、職員へ周知徹底することで、骨折等の事故を未然に防ぐよう努めておりますが、認知症の方の徘徊等による事故・ヒヤリハットが増えているのも現実で、より安全で安心できる環境を提供できるよう、事故報告書・ヒヤリハット報告書を基にして、ハード・ソフト面での防止や改善策を検討し、様々な取り組みを実施しました。また骨折等の事故については、関係機関に報告を行うなどの迅速な対応を行いました。

- 感染症対策検討委員会
 - 「施設内に職員が感染症（感染源）を持ち込まない」を目標に行いました。
 - 食中毒予防月間の5月から10月までのお願いとし、ご家族宛に、差し入れ等の注意事項を記入した書類を送付しました。
 - 11月にはノロウィルス、インフルエンザについて、施設内研修を実施し、吐物の処理方法の実践等を行いました。
 - 令和元年度の感染症は、特別養護老人ホームでインフルエンザに感染された方が1名出ましたが、感染拡大はしていません。
 - 褥瘡については、褥瘡の状態について情報共有し、処置・除圧の徹底を行いました。

- リスクマネジメント委員会

施設としてより良いサービスを提供するために、事故やヒヤリハットについての検討だけでなく、身体拘束、苦情等についても会議を開き予防策や改善策について検討を行いました。事故、ヒヤリハットについては、発生場所、発生時間等の統計を取りまとめ、統計結果を事務職員も把握したうえで、少しでも事故を未然に防ぐことができるように努めました。

【医 療】

施設の中で過ごす利用者にとって、日々充実した生活を送るためには、何よりも健康であることが第一です。そのために毎日職員間で行う情報交換をもとに疾病の早期発見、早期治療に心がけており、熱発時や緊急時は嘱託医に連絡し早期受診を行っています。また嘱託医以外にも定期受診として紀南病院の眼科、脳外科、神経内科、リウマチ外科等に通院をしています。

その他、年1回の利用者健康診断（身体障害者支援施設の利用者については、年2回）を行い、また血液に異常のある利用者は、嘱託医の指示により定期的に血液検査を行っています。

職員には年1回の健康診断（夜勤を行う職員は年2回）を実施して、再検査が必要な職員は検診センター医師、産業医の指導のもと受診を行い健康管理に努めました。

インフルエンザについては、利用者（本入所）、職員ともに予防接種を受け、利用者1名が罹患しましたが、隔離等の感染拡大防止に努め、拡大には至りませんでした。

【安全対策】

近年、地震に対する防災対策だけでなく、台風や大雨に伴う風水害・土砂災害で被災する福祉施設が増加し、風水害・土砂災害に対する防災対策が非常に重要となっています。

当施設として、前年度の避難訓練の課題等を踏まえた上で、令和元年7月には夜間想定、令和2年3月には昼間想定消防総合訓練を実施し、7月実施の訓練には熊野消防署職員の立会をお願い致しました。また、令和元年11月には土砂災害を想定した避難訓練も実施しています。

訓練を通して、多数の高齢者及び身体障害者の方が生活している中で、災害時の危険性を予見し、未然に防止するため、出火防止対策や土砂災害時の対策等の徹底並びに夜間における防災管理体制の強化に努めました。

【職員研修】

令和元年度につきましても、提供サービス向上のために、あらゆるテーマに沿った多くの研修会に参加しました。施設内外への研修会に参加することで、新しい知識や手法を積極的に取り入れることが出来、専門的知識・技術の向上、資質向上を図ることが出来ました。

特に、三重県社会福祉協議会主催の生涯研修、業種別研修、課題別研修を中心とした研修に参加することにより、社会福祉従事者としての自覚や使命感を育てることや、専門性や処遇技術の向上、問題解決能力を養うための自己啓発の促進等、職員個々のレベルアップを図ることで、利用者へ満足のいくサービスの提供を行うことが出来るものと考えております。

令和元年度 職員研修実施一覧表

特別養護老人ホーム ケアホーム熊南

	研 修 名	研修先	研 修 日	参加職員
4月	社会福祉法人の運営対応フォロー研修	津市	19日	2名
5月	業種別研修（排泄ケア）	津市	13日	2名
	老施協新旧合同委員会	津市	20日	1名
	社会福祉法人役員及び幹部職員研修	津市	28日	2名
6月	福祉大臣セミナー	津市	4日	1名
	三重県老施協総会	津市	7日	3名
	介護保険サービス事業者集合研修	松阪市	14日	2名
	経営戦略トップセミナー	津市	15日	2名

	課題別専門研修（DZ加・ツツク）	津市	26日	1名
	第1回21世紀委員会	津市	28日	1名
7月	経営協会計担当者養成講座	津市	4日	1名
	東海北陸ブロック老施協研究大会	福井県	18～19日	3名
	地域権利擁護支援研修	津市	23日	2名
	キャリアパス研修（チームワークコース）	津市	24～25日	1名
8月	経営協会計担当者養成講座	津市	1日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	熊野市	29日	1名
9月	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	4日	1名
	キャリアパス中堅職員研修	津市	4～5日	1名
9月	公正採用選考会研修	尾鷲市	5日	1名
	認定調査員現任者研修	津市	6日	1名
	特養部会研修（リスクマネジメント）	津市	10日	2名
	キャリアパス中堅職員研修	津市	10～11日	1名
	介護支援専門員更新研修	津市	11～13日	1名
	介護技術研修	多気郡	12日	2名
	介護支援専門員更新研修	津市	17日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	熊野市	17日	1名
	介護支援専門員更新研修	津市	25日	1名
10月	権利擁護研修	津市	2日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	熊野市	3日	1名
	介護支援専門員更新研修	津市	4日	1名
	人材育成研修	津市	8日	2名
	感染対策・口腔ケア研修	多気郡	9日	1名
	CareTEX 関西ファクト 大阪	大阪市	10～11日	3名
	経営協労務管理研修会	津市	25日	2名
11月	介護支援専門員更新研修	津市	6日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	熊野市	7日	1名
	キャリアパス対応研修（初任者コース）	津市	7～8日	1名
	経営協労務管理研修	津市	11日	2名
	キャリアパス対応研修（初任者コース）	津市	13～14日	1名
	ノロウイルス食中毒・感染症防止対策講習	熊野市	14日	1名
	東海北陸社会福祉法人経営者セミナー	岐阜県	20～22日	1名

	介護支援専門員更新研修	津市	19~20日	1名
	福祉避難所運営訓練	熊野市	21日	1名
12月	働き方改革関連法研修	津市	3日	2名
	介護支援専門員更新研修	津市	4日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	熊野市	5日	1名
	社会保険事務セミナー	津市	12日	1名
	ハローワーク事業所システム説明会	熊野市	12日	1名
	都道府県経営協セミナー	津市	8日	2名
	リーダー育成研修	多気郡	16日	1名
	社会福祉法人人事労務管理講座	神奈川県	30~31日	2名
2月	福祉決算セミナー	愛知県	7日	1名
	退職手当共済制度実務説明会	津市	12日	2名
	21世紀委員会	津市	14日	1名
	社会保険事務セミナー	尾鷲市	17日	1名
	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	20日	2名

令和元年度 職員研修実施一覧表

身体障害者支援施設 ケアホーム熊南

	研修名	研修先	研修日	参加職員
4月	サビ管連絡会	四日市市	26日	1名
5月	三重身障協総会	津市	10日	1名
	重度障がい児者とその家族の生活を考える部会	熊野市	17日	1名
	近障協施設長総会	大阪市	17日	1名
6月	近障協サビ管連絡会	大阪市	14日	1名
	第1回QOL委員会	滋賀県	28日	1名
7月	業種別研修（障害者差別解消法）	津市	11日	1名
	紀南地域自立支援協議会	熊野市	19日	1名
	サビ管連絡会	伊賀市	26日	1名
8月	福祉介護職員特定処遇改善加算説明会	津市	16日	1名
	キャリアパス研修（チームリーダーコース）	津市	21~22日	1名
	三重県相談支援従事者現任研修	津市	28日	1名

	第2回QOL委員会	奈良県	29日	1名
9月	キャリアパス中堅職員研修	津市	19~20日	1名
	三重県サービス管理責任者更新研修	津市	20日	1名
	サビ管連絡会	奈良県	27日	1名
10月	キャリアパス中堅職員研修	津市	2~3日	1名
11月	サビ管連絡会	鈴鹿市	15日	1名
	キャリアパス研修(初任者コース)	津市	21~22日	1名
1月	三重障がい者雇用促進セミナー	津市	21日	1名
2月	三重県身障協総会研修会	津市	7日	1名

【施設訪問】

平成31年

4月 7日 井谷豊優扇会 20名

令和元年

7月13日 コーラスかかし(コーラス) 11名

7月24日 天理教南紀鼓笛隊 45名

10月 5日 尾鷲演歌楽団 5名

10月 7日 入鹿保育所 18名

【施設体験学習受入】

令和元年

10月 2日 入鹿中学校体験学習 14名

【ボランティア】

令和元年

7月21日 板屋婦人会 10名
(草刈作業)

【職員異動】

- ・ 特別養護老人ホーム

☆法人内異動

	男性	女性	合計
転入	1	0	1
転出	2	1	3
合計	3	1	4

☆採用

	男性	女性	合計
新卒採用	0	0	1
中途採用	1	5 (非常勤3名含む)	6 (非常勤3名含む)
合計	1	5 (非常勤3名含む)	6 (非常勤3名含む)

☆退職

	男性	女性	合計
定年退職	0	0	0
結婚・出産による退職	0	0	0
一般退職	2	1	3
合計	2	1	3

☆職種別採用・退職

職種	採用	職種	退職
施設長	0	施設長	0
介護職員	1 (非常勤1名含む)	介護職員	1
看護職員	2 (非常勤2名含む)	看護職員	0
栄養士	0	栄養士	1
事務員	0	事務員	0
調理員	3	調理員	1
その他	0	その他	0
合計	6 (非常勤3名含む)	合計	3

・身体障害者支援施設

☆法人内異動

	男性	女性	合計
転入	2	1	3
転出	1	0	1
合計	3	1	4

☆採用

	男性	女性	合計
新卒採用	0	0	0
中途採用	2	2 (非常勤1名含む)	4 (非常勤1名含む)
合計	2	2 (非常勤1名含む)	4 (非常勤1名含む)

☆退職

	男性	女性	合計
定年退職	0	1	1
結婚・出産による退職	0	0	0
一般退職	1	2 (非常勤1名含む)	3 (非常勤1名含む)
合計	1	3 (非常勤1名含む)	4 (非常勤1名含む)

☆職種別採用・退職

職種	採用	職種	退職
副施設長	0	副施設長	1
介護職員	1	介護職員	2
看護職員	0	看護職員	0
事務員	1	事務員	0
栄養士	1	調理員	0
その他	1 (非常勤1名含む)	その他	1 (非常勤1名含む)
合計	4 (非常勤1名含む)	合計	4 (非常勤1名含む)

【職員構成】

・特別養護老人ホーム

令和2年3月31日現在

	特別養護老人ホーム 人員配置基準	特別養護老人ホーム ケアホーム熊南
施設長（事務長兼務）	1	1
業務課長		1
事務員		1
生活相談員	1	※1
介護支援専門員	1	※1
機能訓練指導員	1	1
看護職員	3	3
看護職員（非常勤）		2
介護職員	21	21
介護職員（非常勤）		7
栄養士	1	1
調理員		2
調理員（非常勤）		1
医師	1	1（非常勤）
合 計	30	44

※は、兼務

備考）人員配置基準で介護職員及び看護職員の総数は、入所者：介護職員・看護職員＝3：1以上配置するという基準があり、特別養護老人ホームケアホーム熊南に、この数字を置き換えますと、70：24以上必要となりますが、令和2年3月31日現在では、70：31となっており配置基準値は満たしております。

・身体障害者支援施設

令和2年3月31日現在

	障害者支援施設 人員配置基準	身体障害者支援施設 ケアホーム熊南
施設長	1	1
事務員		2
サービス管理責任者	1	1
相談支援員		※1
看護職員（非常勤）	1	2
生活支援員	6	9
生活支援員（非常勤）		2
栄養士	1	※1
調理員		1
調理員（非常勤）		3
介助員（非常勤）		3
運転手（非常勤）		1
理学療法士	1	1（非常勤）
医師	1	1（非常勤）
合 計	12	29

※は、兼務

備考）人員配置基準で、看護職員、理学療法士又は作業療法士及び生活支援員の常勤換算での総数は、定員数を平均区分が4未満では利用者数を6で除した数、平均区分が4以上5未満では利用者数を5で除した数、平均区分が5以上では利用者数を3で除した数が基準となっており、身体障害者支援施設ケアホーム熊南では、令和2年3月31日現在、平均区分が5.55であるため、定員22名を3で除した数、7.4人以上必要となりますが、総数で11.9人配置しておりますので基準値は満たしております。